



—— 市町界



(解析) 解析
上流端 上流端 下流端 下流端


 家屋倒壊等氾濫想定区域
 (氾濫流)

(1) の図は、大倉川系大倉川の下流域について、家屋傾斜等をもたすように定めた区域（家屋傾斜低下想定区域）を表したものである。

(2) の家屋傾斜等最大想定区域は、公表時の大倉川の河況及び洪水調節施設の、想定される最大想定降（に伴う洪水）により大倉川が氾濫した場合のシミュレーションにより予測したものである。

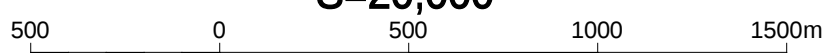
(3) おお、このシミュレーションの実施にあたっては、大倉川の（決壊による）氾濫、の前もってその降降に伴う規模の氾濫による氾濫、高潮及び内河川にわたる氾濫等による、この家屋傾斜等最大想定区域に設定されている区域内の内河川においても氾濫等する可能性がある。

(4) 家屋傾斜等最大想定区域は、一定の想定をもとに算定したものである。(1)の図の区域は直接氾濫の可能性がある不適宜な想定をしていない。堤防の宅地内に於いて氾濫を計画していること等の理由から、この区域の境界は簡易でなく、この区域に於いて計画していただきたい。

(1) 作成主体 宮城県
(2) 公表年月日 令和7年5月30日
(3) 対象となる河川 名取川水系大倉川（実施区間）
左岸：寒風沢の合流点から大倉ダム上流まで
大倉ダム下流から広瀬川合流点まで
右岸：同上
(4) 算出の前提となる降雨 名取川水系大倉川 大倉川流域の1時間雨量79.1mm
(5) 関係市町村 仙台市

氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域は無し

S=20,000



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R6 JHs 969を加工